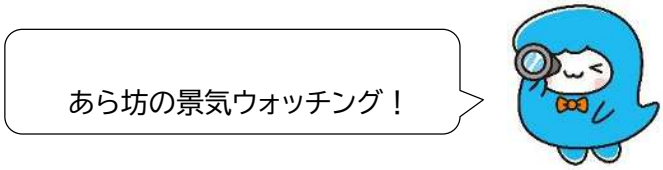
令和8年10月26日

荒川区景況速報（令和8年7月～9月）



全業種の動向

1 今期（7月～9月）・次期（10月～12月）の業況判断

※DIとは、「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合

荒川区の今期は▲30.4、（前回調査▲19.4）と大幅に悪化、次期は▲22.8と改善の予想となっている。全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では改善の予想となっている。

2 今期（7月～9月）の売上（4月～6月と比較した状況）

「減少した」（44.8%）が約4割半ばと最も高く、これに「あまり変わらない」（41.3%）、「増加した」（14.0%）が続いている。

3 中東情勢による原油価格高騰や原材料の供給不安の影響が出ているとの回答が約7割となっている

「軽微なマイナスの影響が出ている」（37.8%）と「大きなマイナスの影響が出ている」（32.0%）を合わせ、中東情勢による影響が出ていると回答した事業所が約7割（69.8%）となっている。これに、「現時点で影響はないが、先行きは不透明だ」（15.1%）、「現時点では分からない」（7.6%）、「特に影響はなく、今後も想定しにくい」（7.0%）、「プラスの影響がある」（0.6%）が続いている。

4 原油価格高騰や原材料・資材の供給不安により、経営にマイナスの影響が出ている内容として、原油由来の原材料・資材の価格の上昇が最も高い回答となっており、3割を超える

「原油由来の原材料・資材の価格の上昇」（33.3%）が約3割と最も高く、これに「運搬や光熱費等のコスト上昇」（21.4%）、「原油由来の原材料・資材の調達難」（16.7%）、「販売実績・売り上げの減少」（14.3%）、「取引先や親会社からの受注減少」（7.8%）、「機械運転など製造工程でのコスト上昇」（4.4%）、「その他」（2.0%）が続いている。

5 原油価格高騰や原材料・資材の供給不安にあたり、製品等への価格転嫁で対応するとの回答が3割半ばを超える

「製品等への価格転嫁」（37.1%）が約3割半ばを超えて最も高く、これに「コスト削減の徹底」（22.1%）、「原材料等の調達先の多様化」（13.9%）、「在庫の積み増し」（11.4%）、「運転資金のための追加融資」（7.1%）、「事業計画の縮小・延期等」（4.3%）、「その他」（3.9%）が続いている。

6 原油価格高騰や原材料・資材の供給不安に対して、対応策を実施しているまたは実施を検討しているとの回答が約7割半ばとなっている

「一部を実施している」（36.6%）が約3割半ばと最も高く、これに「おおむね実施している」（23.3%）、「実施に向けて検討している」（16.3%）を合わせ、対応策をすでに実施、または実施を検討している事業所は約7割半ば（76.2%）となっている。さらに「自社で対策できるものはない」（15.1%）、「実施していない（必要ない）」（7.0%）、「その他」（1.2%）が続いている。

＊調査方法等

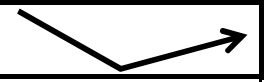
今回の調査は、業種別構成比に基づき、抽出した区内中小企業200事業所を対象に、今期と次期について調査を行いました。調査票は令和8年9月10日に発送し、172事業所から回答がありました（回収率86.0%）。なお、集計結果の構成比の数値は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計値が100%とならない場合があります。

（問合せ）荒川区 産業経済部 産業振興課 管理係　担当：山本、冨士田
電話：03（3802）3111　内線：446

1 今期(7月～9月)・次期(10月～12月)の業況判断

(1) 全業種

荒川区の今期は▲30.4、(前回調査▲19.4)と大幅に悪化、次期は▲22.8と改善の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	**4月～6月**	**▲ 19.4**	**7月～9月**	**▲ 30.4**	**10月～12月**	**▲ 22.8**	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	4月～6月	▲ 18.7	7月～9月	▲ 15.5	10月～12月	▲ 15.1	
東京都(東京都 中小企業の景況)	7月	▲ 18.0	8月	▲ 22.0	9～11月	▲ 16.0	

(2) 製造業

荒川区の今期は▲21.7、(前回調査▲18.6)とやや悪化、次期は▲23.9とやや悪化の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都ではほぼ横ばいの予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	**4月～6月**	**▲ 18.6**	**7月～9月**	**▲ 21.7**	**10月～12月**	**▲ 23.9**	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	4月～6月	▲ 16.6	7月～9月	▲ 10.3	10月～12月	▲ 8.7	
東京都(東京都 中小企業の景況)	7月	▲ 17.0	8月	▲ 17.0	9～11月	▲ 19.0	

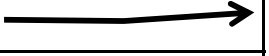
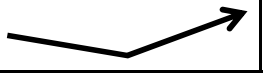
(3) 卸売業

荒川区の今期は▲38.1、(前回調査▲21.7)と大幅に悪化、次期は▲31.7と改善の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	**4月～6月**	**▲ 21.7**	**7月～9月**	**▲ 38.1**	**10月～12月**	**▲ 31.7**	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	4月～6月	▲ 15.2	7月～9月	▲ 13.4	10月～12月	▲ 11.5	
東京都(東京都 中小企業の景況)	7月	▲ 11.0	8月	▲ 18.0	9～11月	▲ 13.0	

(4) 小売業

荒川区の今期は▲38.6、(前回調査▲30.0)と悪化、次期は▲11.4と大幅に改善の予想となっている。
全国・東京都の今期～次期を見ると、全国ではほぼ横ばい、東京都では大幅に改善の予想となっている。

調査名	前期		今期		次期		傾向
	時点	DI	時点	DI	時点	DI	
荒川区景況速報	**4月～6月**	**▲ 30.0**	**7月～9月**	**▲ 38.6**	**10月～12月**	**▲ 11.4**	
全国(中小企業庁 中小企業景況調査)	4月～6月	▲ 27.0	7月～9月	▲ 26.3	10月～12月	▲ 25.0	
東京都(東京都 中小企業の景況)	7月	▲ 33.0	8月	▲ 37.0	9～11月	▲ 22.0	

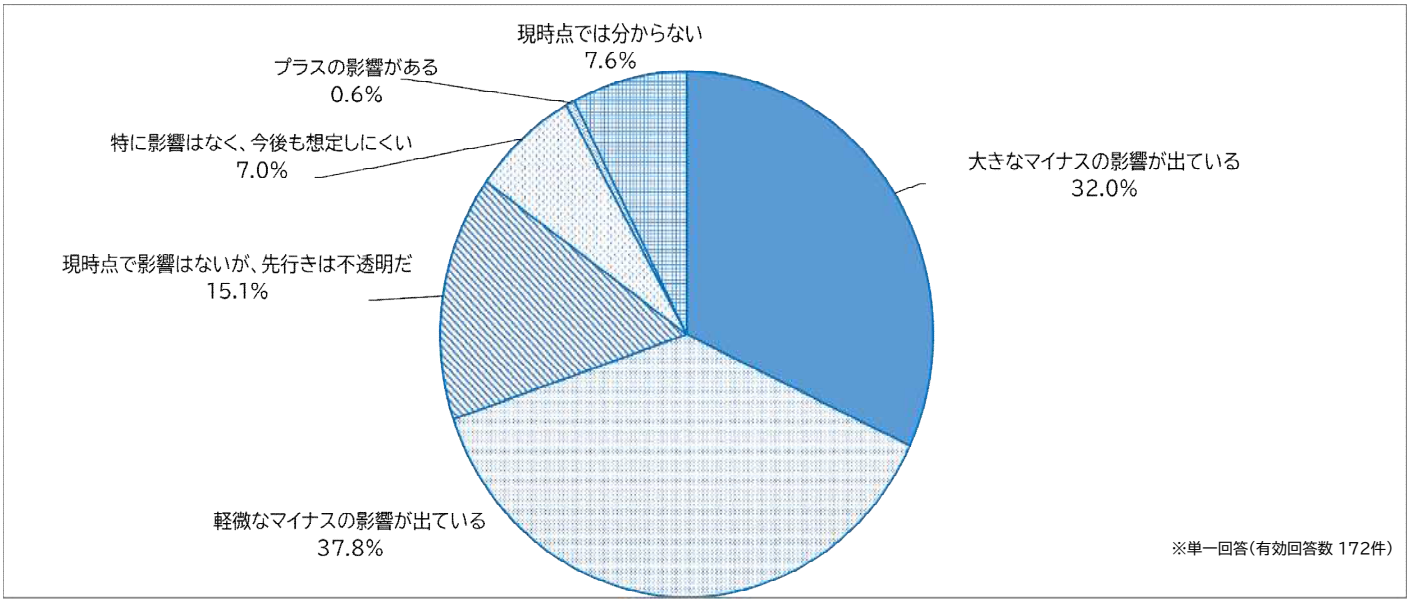
2　今期（7月～9月）の売上（4月～6月と比較した状況）

「減少した」（44.8%）が約4割半ばと最も高く、これに「あまり変わらない」（41.3%）、「増加した」（14.0%）が続いている。（前回調査「あまり変わらない」：45.9%、「減少した」：33.5%、「増加した」：20.6%）

業種別では「増加した」が、製造業では19.6%、卸売業では14.3%、小売業では6.8%となっている。

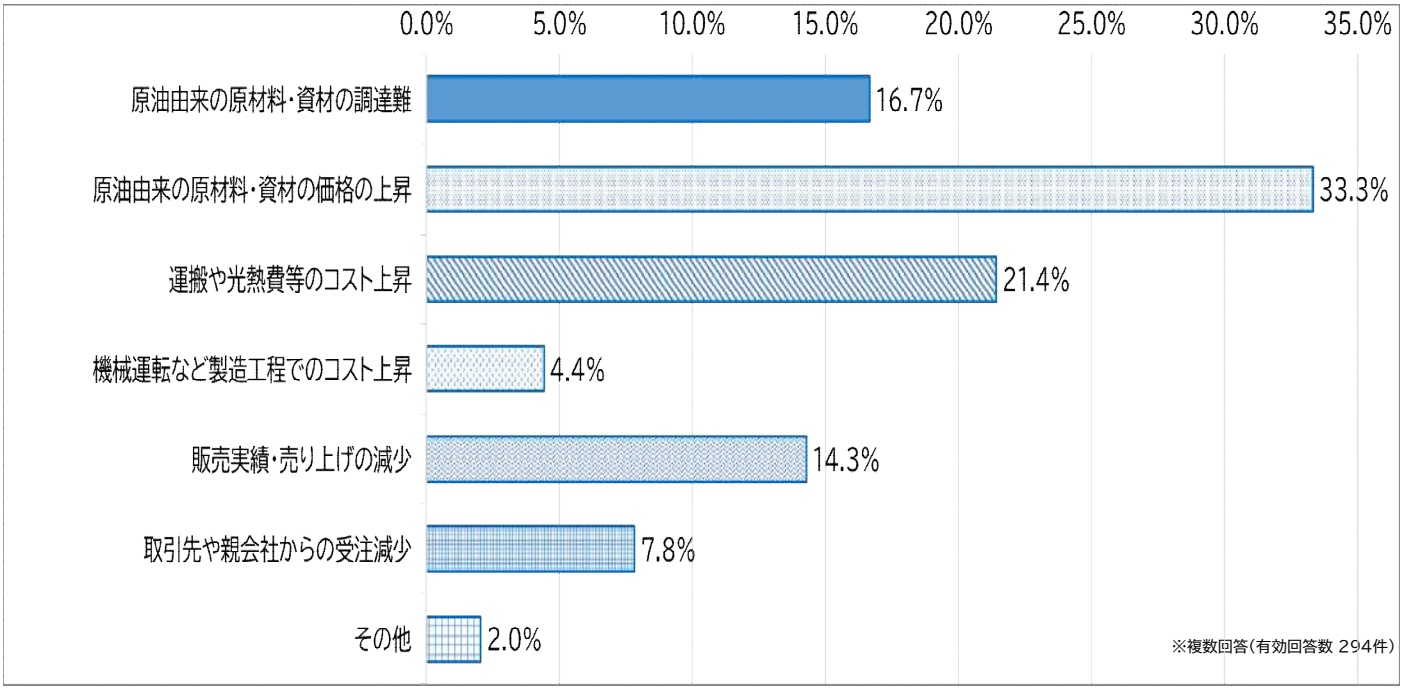
3　中東情勢の影響による「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」は、現在、貴社の経営に影響を与えていますか

「軽微なマイナスの影響が出ている」（37.8%）が約3割半ばを超えて最も高く、これに「大きなマイナスの影響が出ている」（32.0%）、「現時点で影響はないが、先行きは不透明だ」（15.1%）、「現時点では分からない」（7.6%）、「特に影響はなく、今後も想定しにくい」（7.0%）、「プラスの影響がある」（0.6%）が続いている。



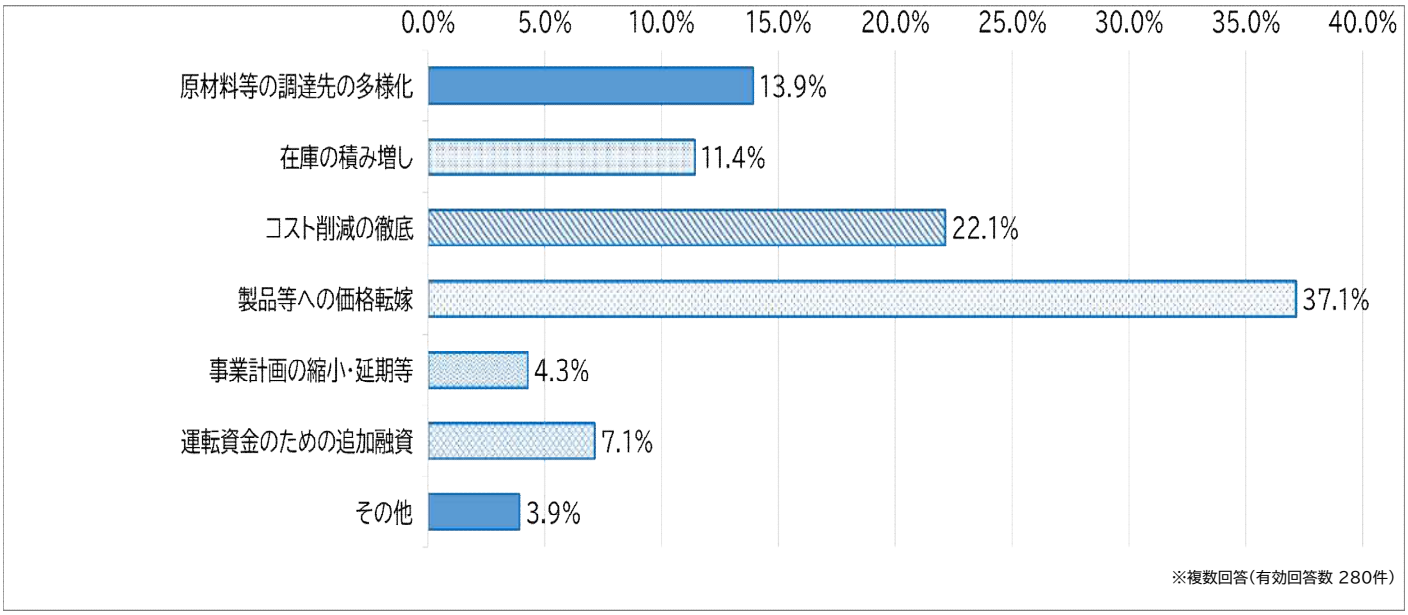
4　貴社でマイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

「原油由来の原材料・資材の価格の上昇」（33.3%）が約3割と最も高く、これに「運搬や光熱費等のコスト上昇」（21.4%）、「原油由来の原材料・資材の調達難」（16.7%）、「販売実績・売り上げの減少」（14.3%）、「取引先や親会社からの受注減少」（7.8%）、「機械運転など製造工程でのコスト上昇」（4.4%）、「その他」（2.0%）が続いている。



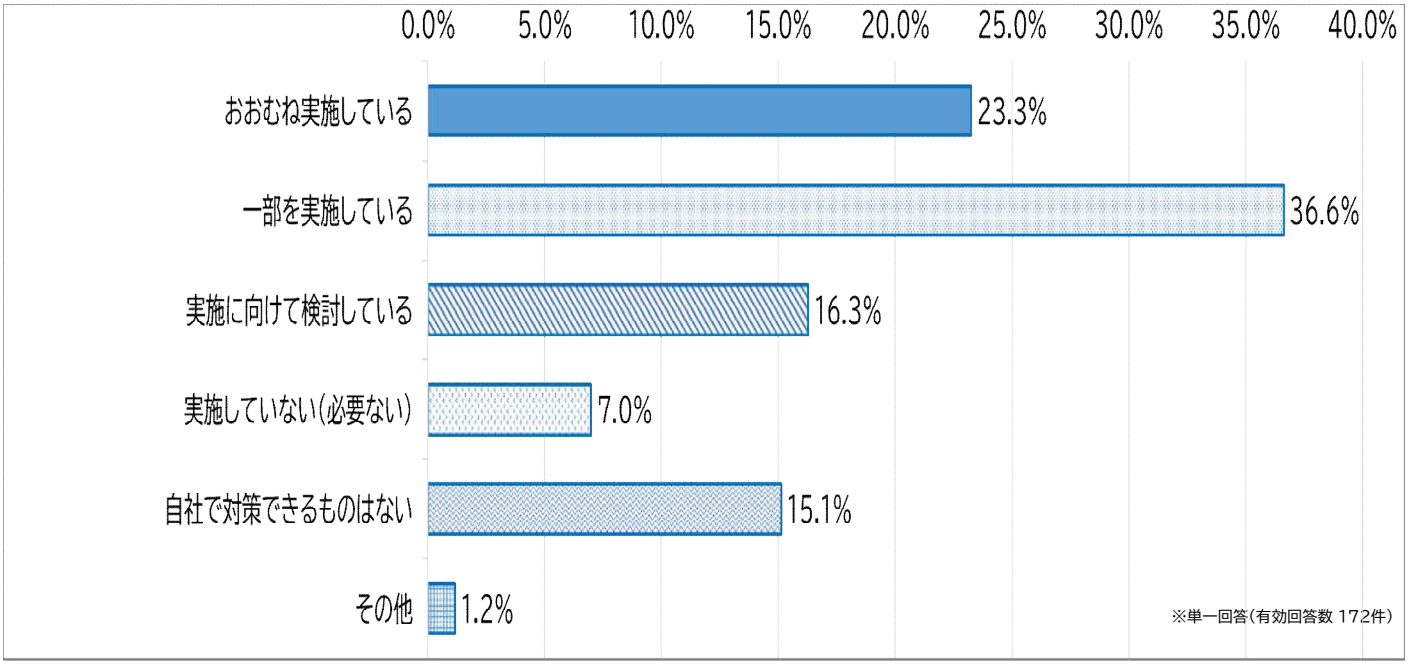
5 「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けて実施する（予定、検討中を含む）貴社の対応策について、当てはまるものを教えてください

「製品等への価格転嫁」（37.1％）が約3割半ばを超えて最も高く、これに「コスト削減の徹底」（22.1％）、「原材料等の調達先の多様化」（13.9％）、「在庫の積み増し」（11.4％）、「運転資金のための追加融資」（7.1％）、「事業計画の縮小・延期等」（4.3％）、「その他」（3.9％）が続いている。



6 「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けた貴社の対応策について、その実施状況を教えてください

「一部を実施している」（36.6％）が約3割半ばと最も高く、これに「おおむね実施している」（23.3％）、「実施に向けて検討している」（16.3％）、「自社で対策できるものはない」（15.1％）、「実施していない（必要ない）」（7.0％）、「その他」（1.2％）が続いている。

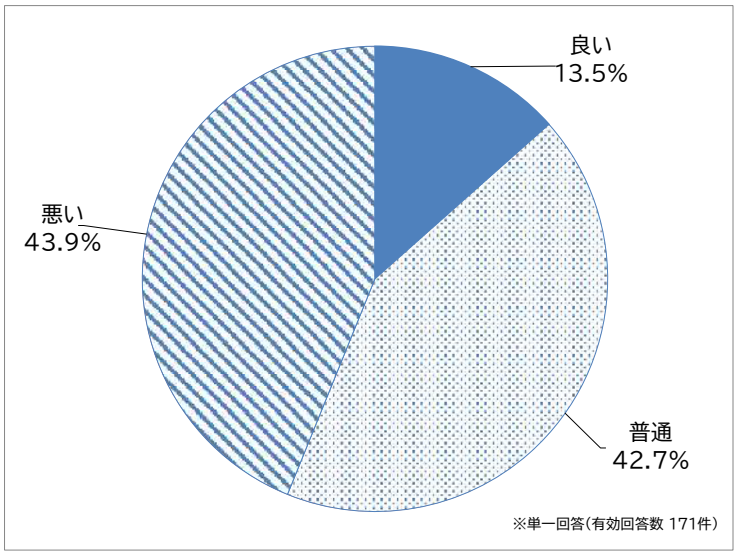


7 主な自由意見等

業種	従業員規模	内　　容
製造	1～4人	資材価格高騰の問題も大きいが、印刷出版業界は急速な電子化の流れに抗えず、新規事業や販路開拓も追いつかない程の岐路に立っている。一層の紙離れが進む中、世間のニーズに寄り添いながら業態の変更を検討していきたい。
製造	70～74人	原油価格や人件費等の高騰が続く中で、先延ばしにしていた老朽施設の修繕、設備や機械の更新時期が来ている。値上げは取引先に認められても、発注量で調整されてしまう悪循環に陥っており、先行き不透明感はぬぐえない。
卸売	1～4人	中東情勢の影響による資材不足で、とても苦しい時期があった。原材料、加工費等すべてで大幅なコストアップがあったが、お客様のご理解により価格転嫁できた。結果的に、インフレで売上高は大幅に上昇している。今後、更に効率よく仕事をして生産性を高める努力が必要と考えている。
卸売	110～114人	商品価格が著しく値上がりして、売上高は増えているが、出荷数量は目に見えて落ちている。今後の受注残も多くなく、年度末に向かって不安な状況だ。
小売	1～4人	中東情勢や為替の影響によるエネルギーコストの上昇で、仕入れ値の高騰が続いている。販売促進策を継続して、売上の維持に努めていきたい。
サービス	5～9人	原油価格高騰や社会情勢の不安定化により、各メーカーから値上げの打診が続いている。価格設定が困難で、今後の見通しは不透明だ。顧客は値上げに対してあきらめ感があり、必要な物を仕方なく購入されている印象が強い。
不動産	5～9人	資材の運搬コスト上昇や調達遅延の影響を受けて、事業計画の調整を検討している。何とか業況維持に努めているが、先行きの不透明感がある。

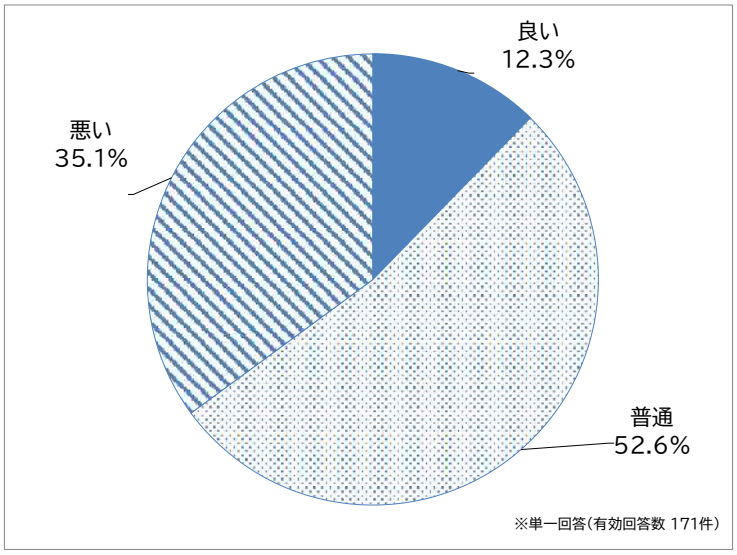
令和8年7月～9月 あら坊の景気ウォッチング　　[全業種]有効回答172事業所

7月～9月の景況



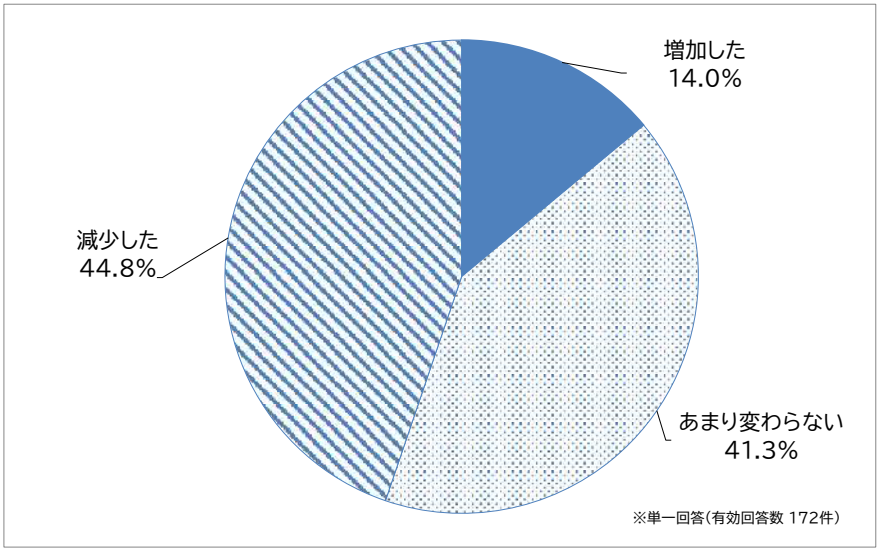
DI ▲ 30.4

10月～12月の景況予想

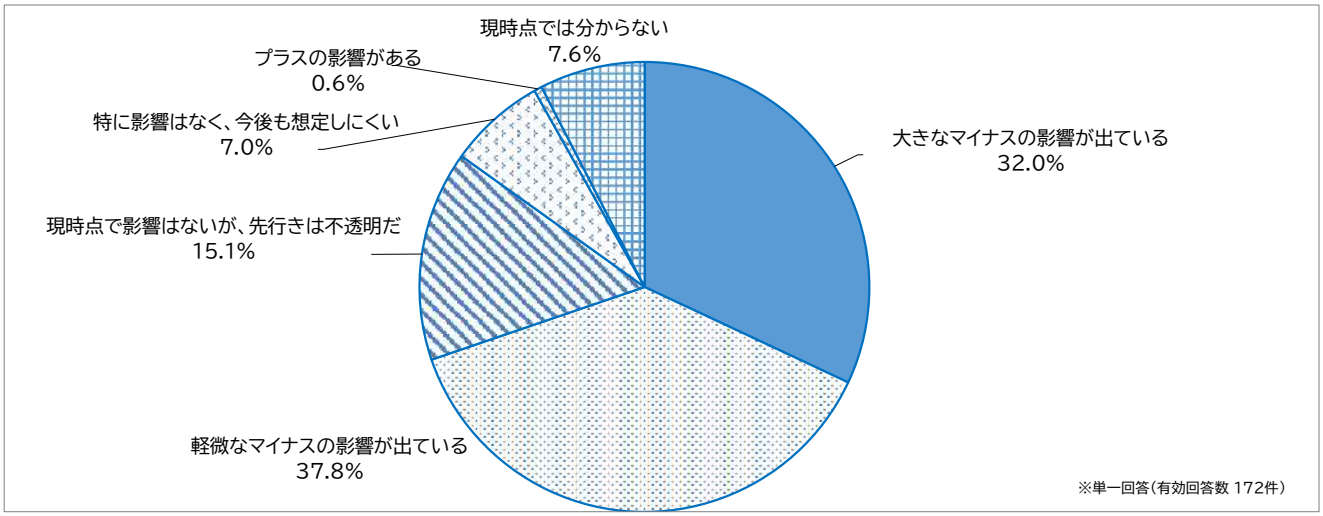


DI ▲ 22.8

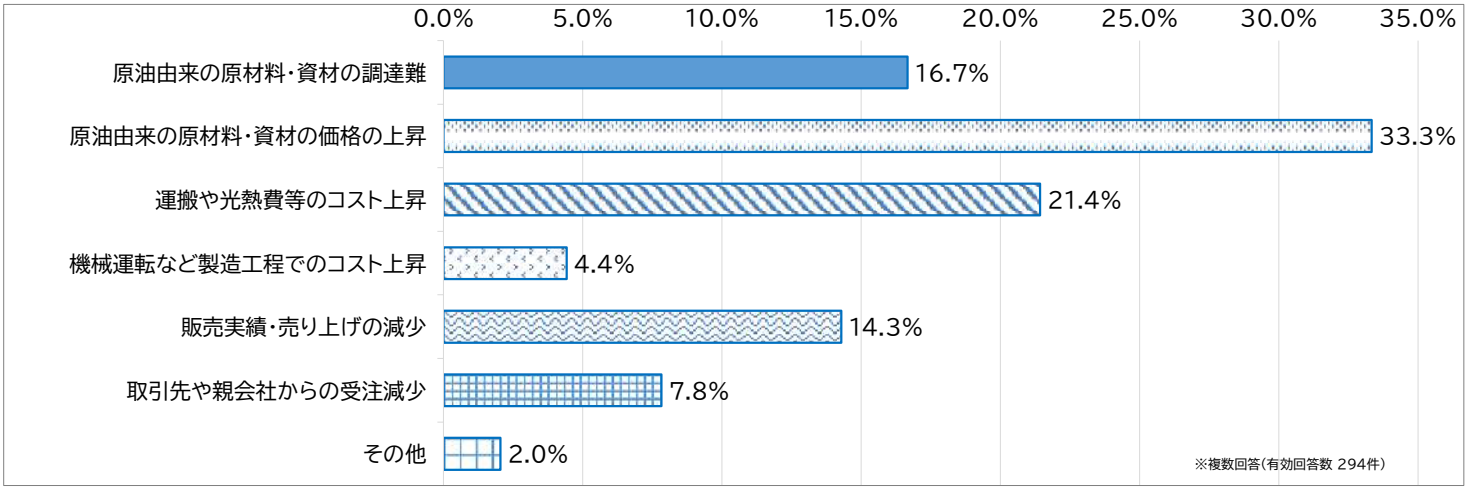
7月～9月の売上(4月～6月)との比較



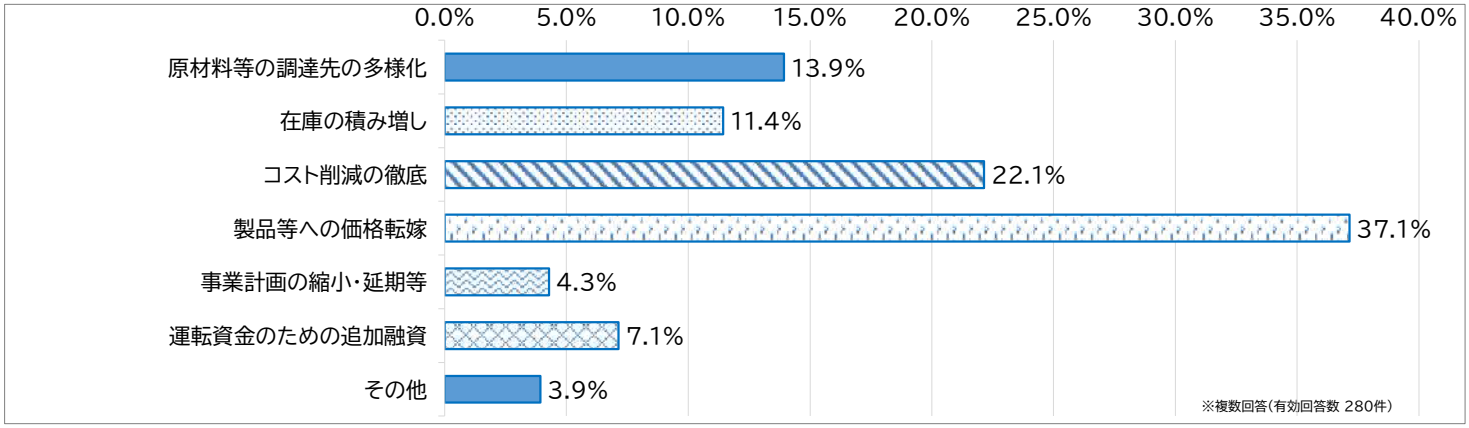
中東情勢の影響による「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」は、現在、貴社の経営に影響を与えていますか



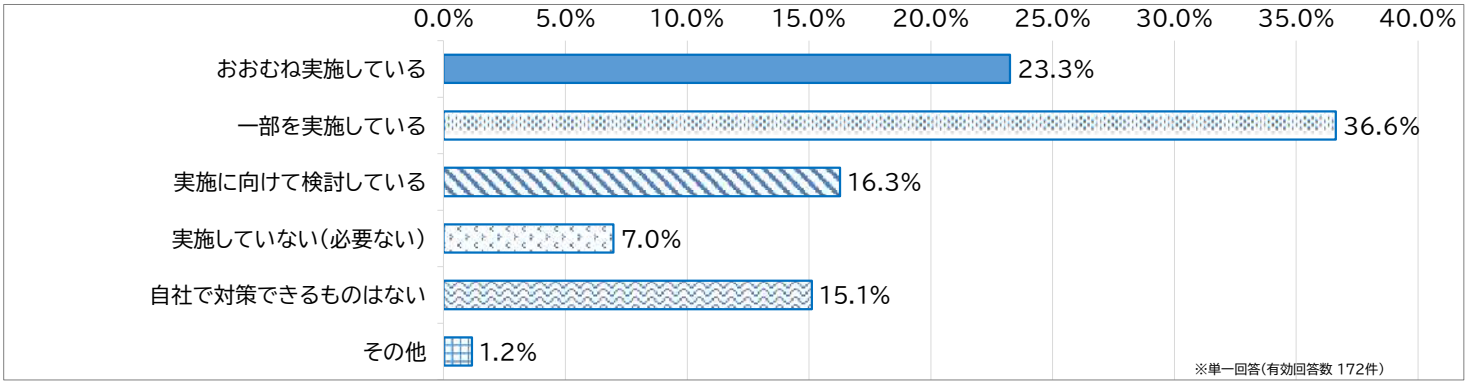
貴社でマイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください



「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けて実施する（予定、検討中を含む）貴社の対応策について、当てはまるものを教えてください

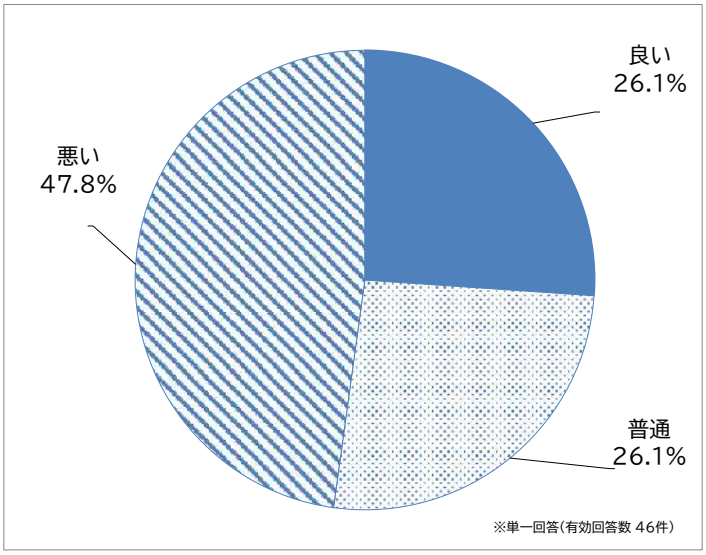


「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けた貴社の対応策について、その実施状況を教えてください



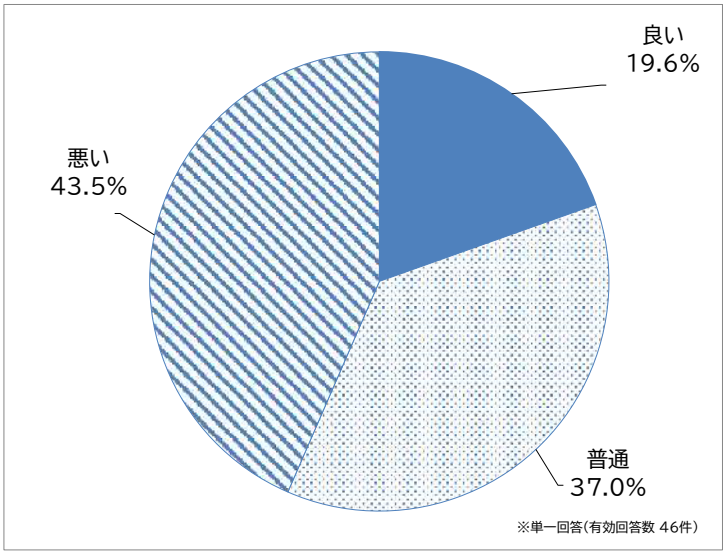
令和8年7月～9月 あら坊の景気ウォッチング［製造業］有効回答46事業所

7月～9月の景況



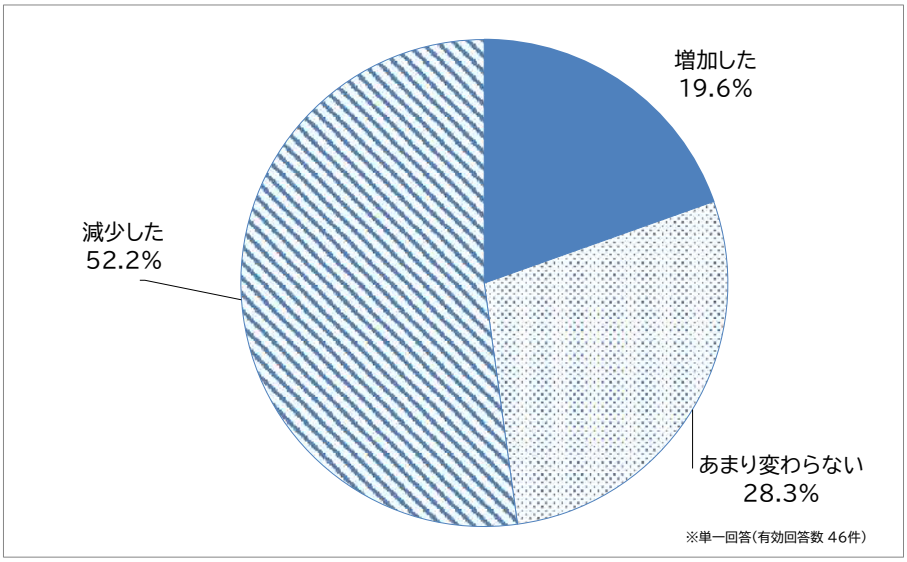
DI ▲ 21.7

10月～12月の景況予想

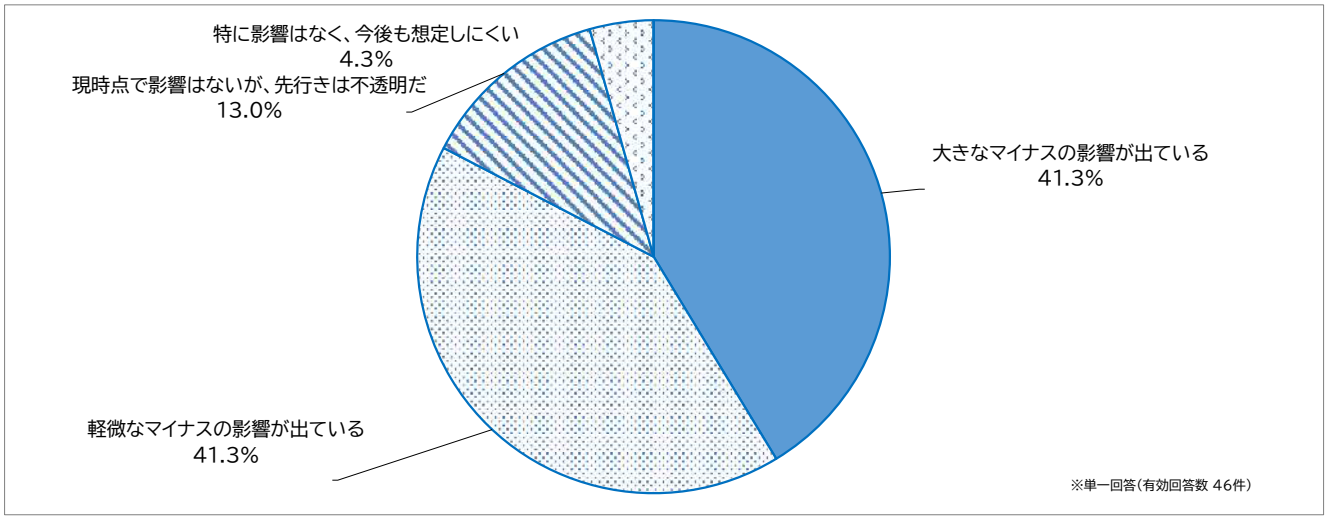


DI ▲ 23.9

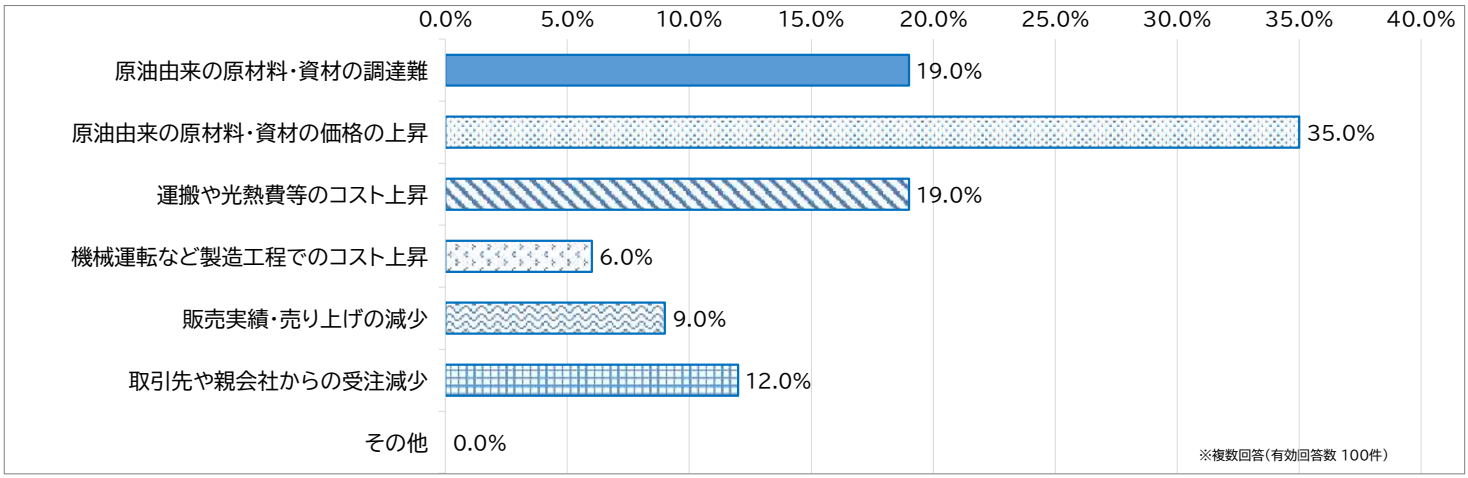
7月～9月の売上(4月～6月)との比較



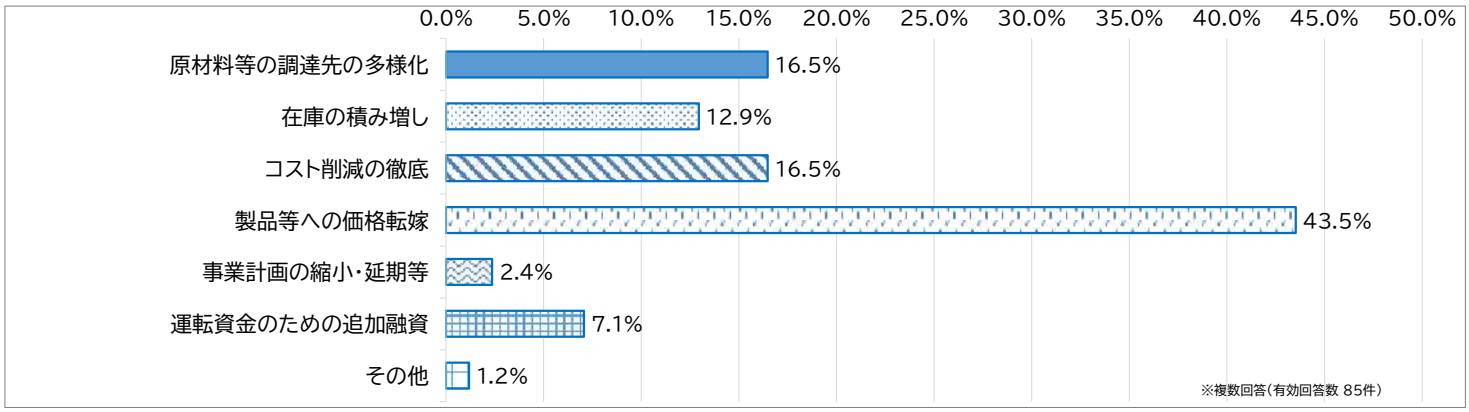
中東情勢の影響による「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」は、現在、貴社の経営に影響を与えていますか



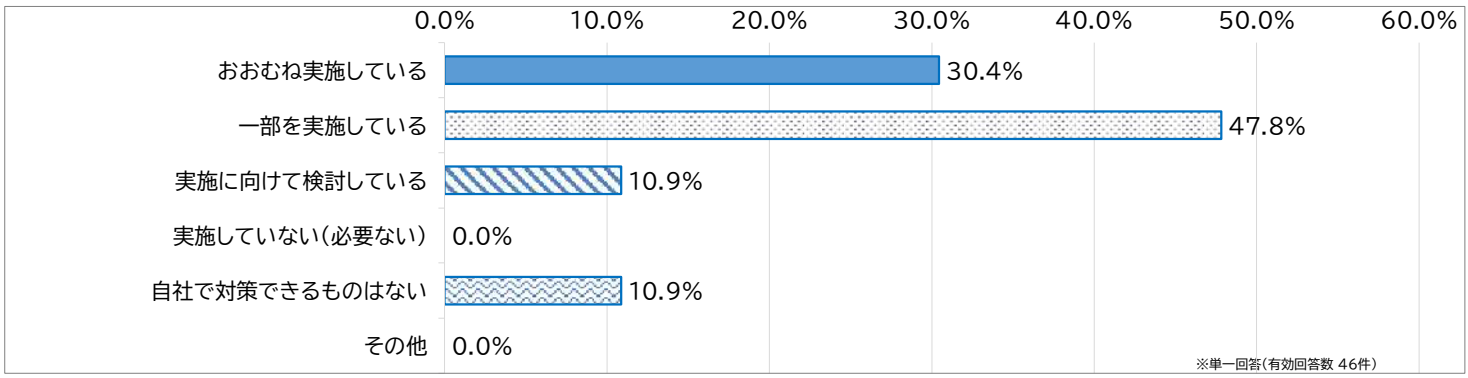
貴社でマイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください



「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けて実施する(予定、検討中を含む)貴社の対応策について、当てはまるものを教えてください

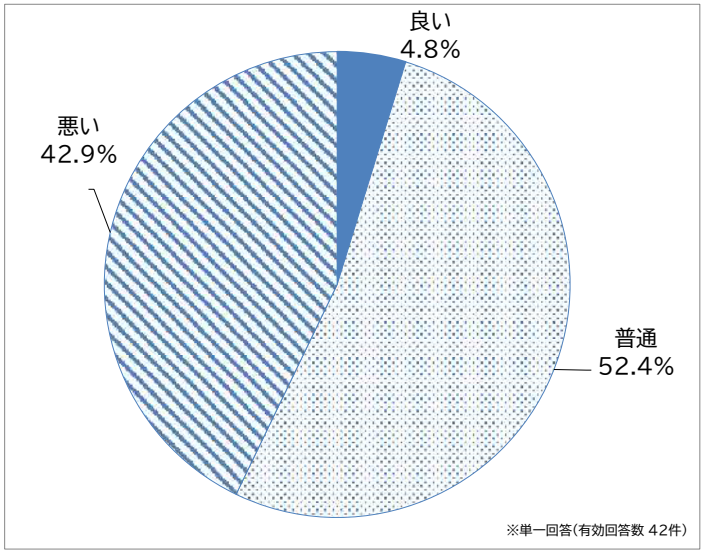


「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けた貴社の対応策について、その実施状況を教えてください



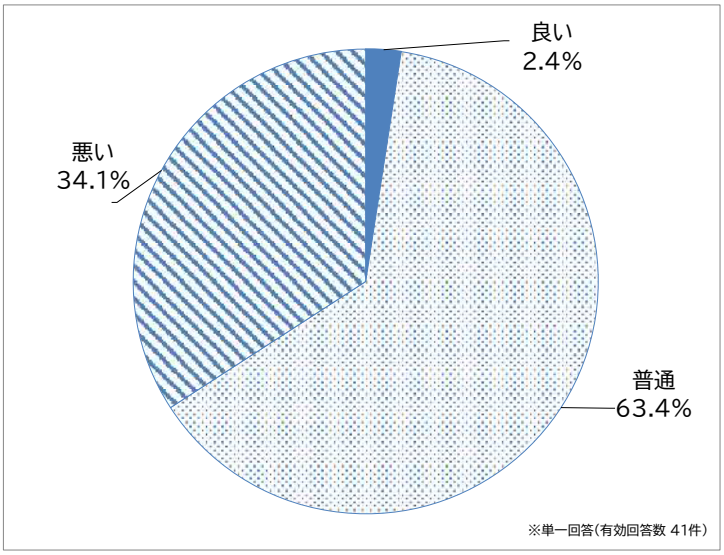
令和8年7月～9月 あら坊の景気ウォッチング［卸売業］有効回答42事業所

7月～9月の景況



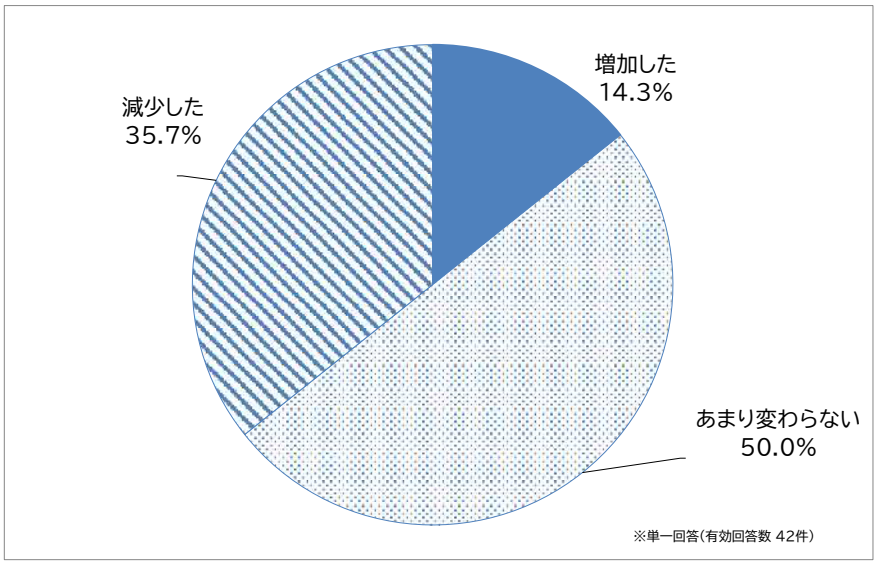
DI ▲ 38.1

10月～12月の景況予想

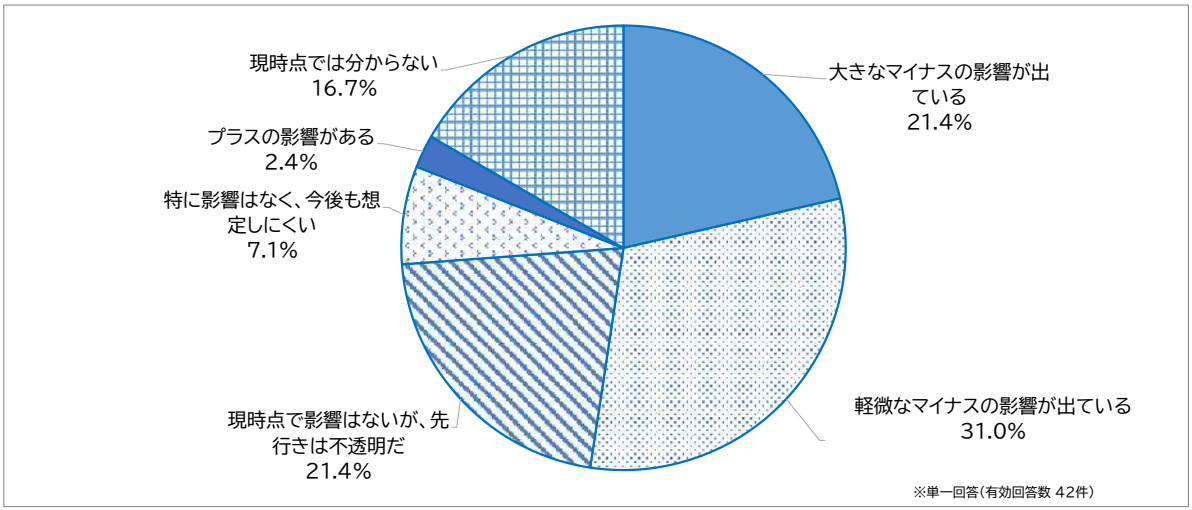


DI ▲ 31.7

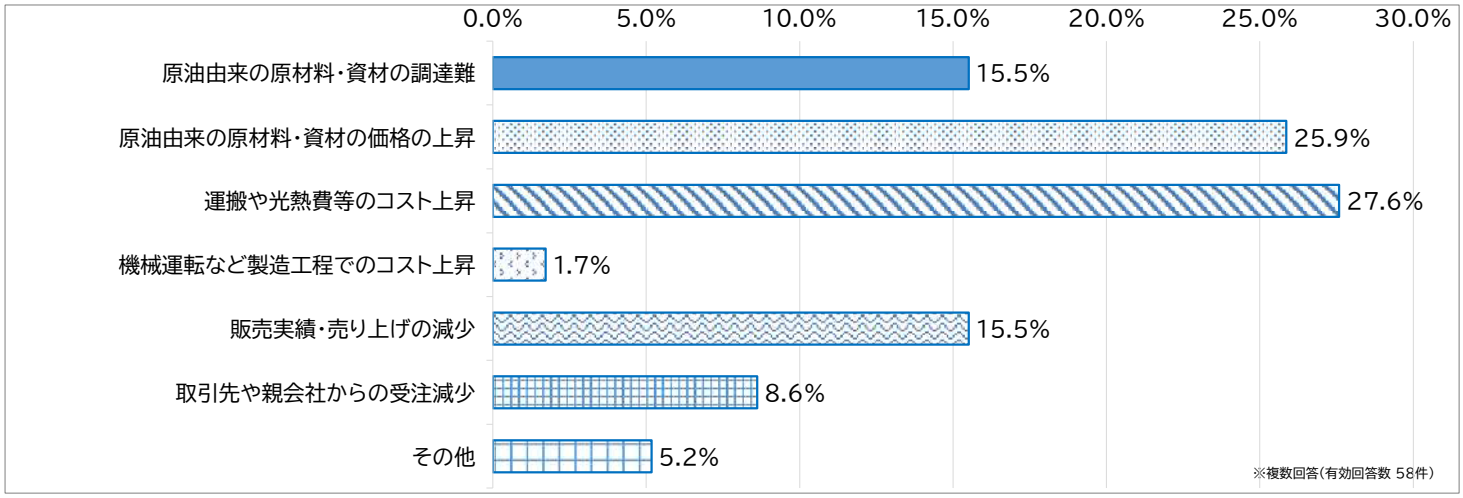
7月～9月の売上(4月～6月)との比較



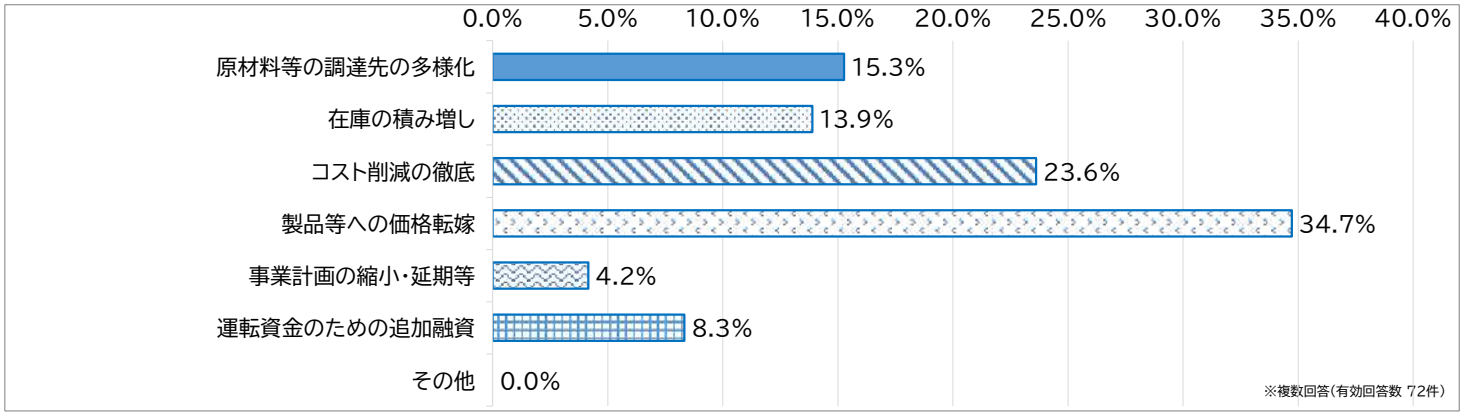
中東情勢の影響による「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」は、現在、貴社の経営に影響を与えていますか



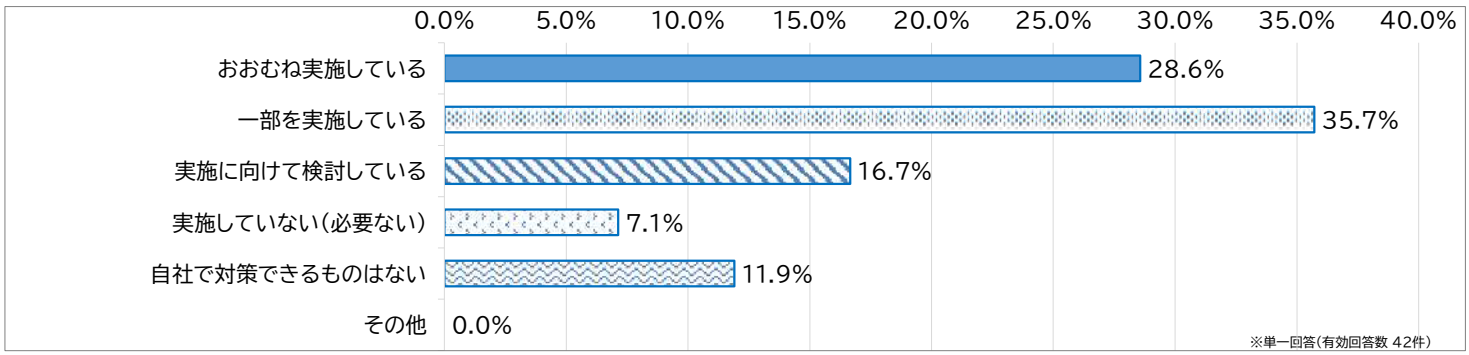
貴社でマイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください



「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けて実施する（予定、検討中を含む）貴社の対応策について、当てはまるものを教えてください

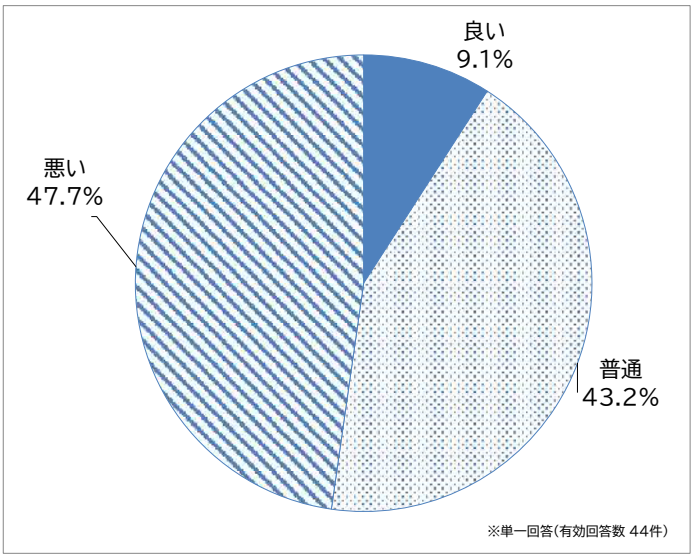


「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けた貴社の対応策について、その実施状況を教えてください



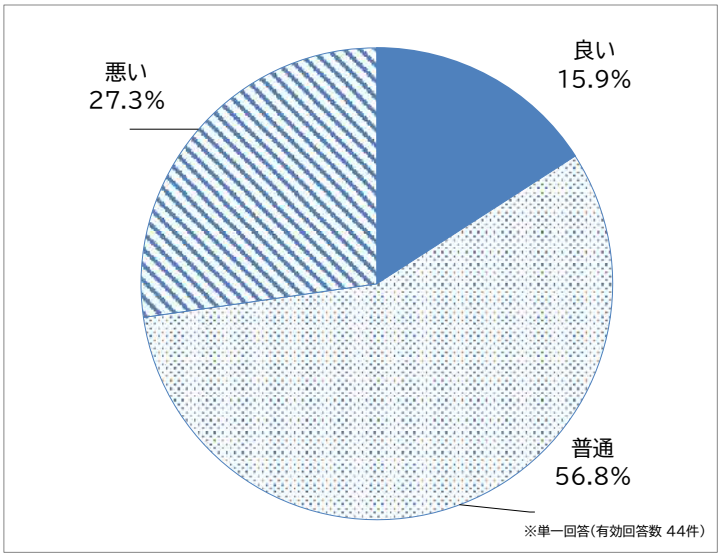
令和8年7月～9月 あら坊の景気ウォッチング［小売業］有効回答44事業所

7月～9月の景況



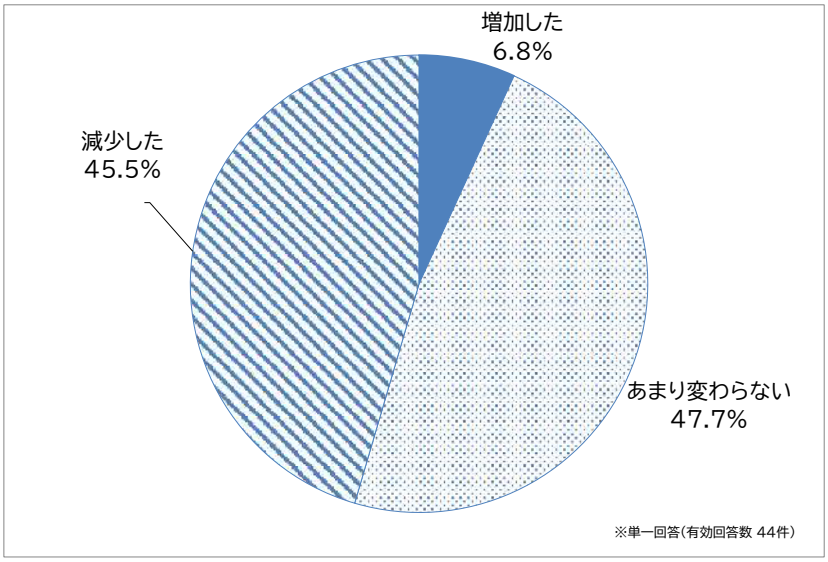
DI ▲ 38.6

10月～12月の景況予想

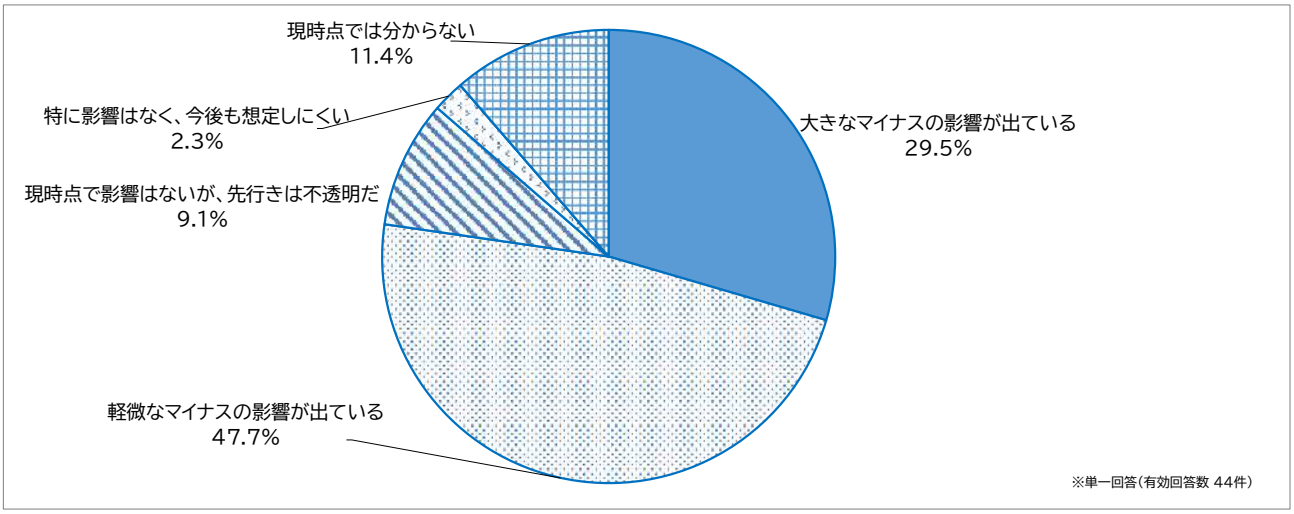


▲ 11.4

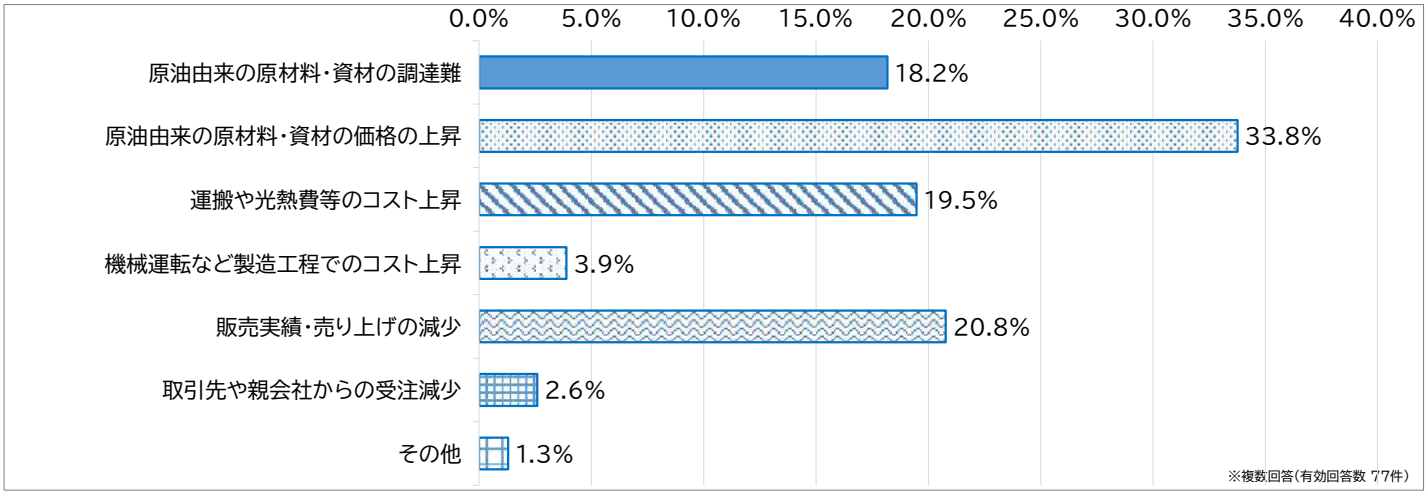
7月～9月の売上（4月～6月）との比較



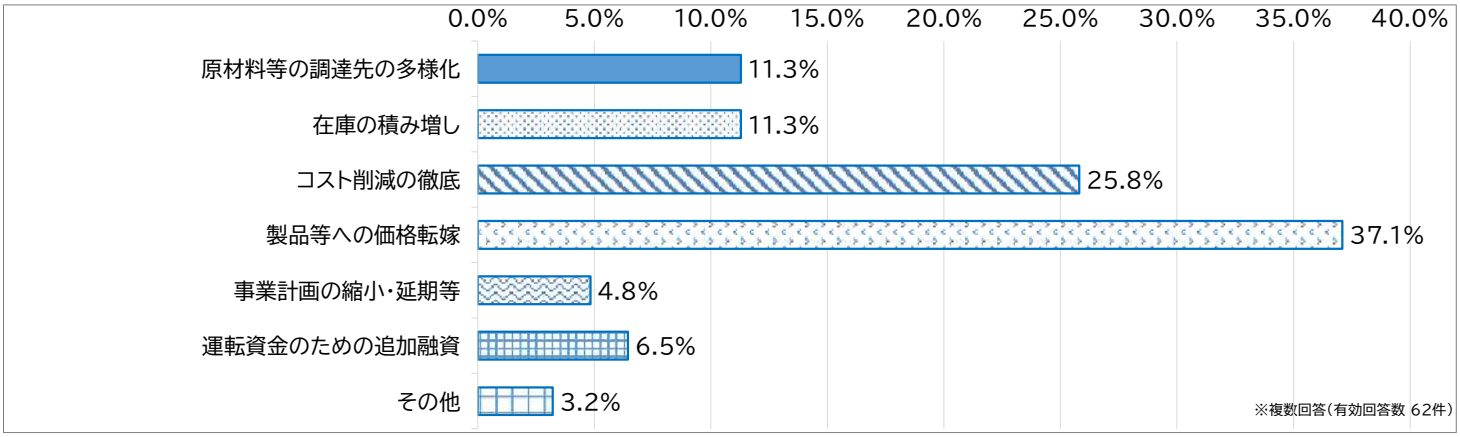
中東情勢の影響による「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」は、現在、貴社の経営に影響を与えていますか



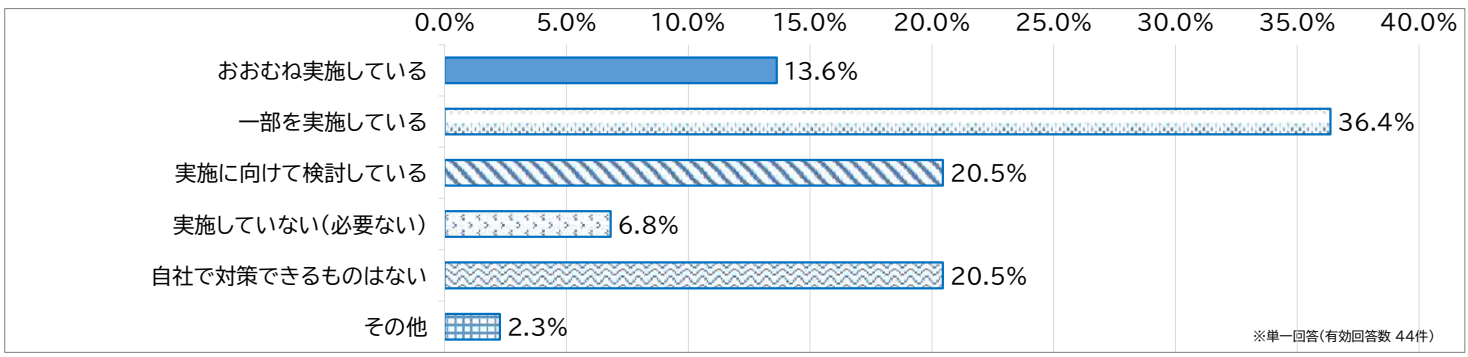
貴社でマイナスの影響を受けている内容について、当てはまるものを教えてください

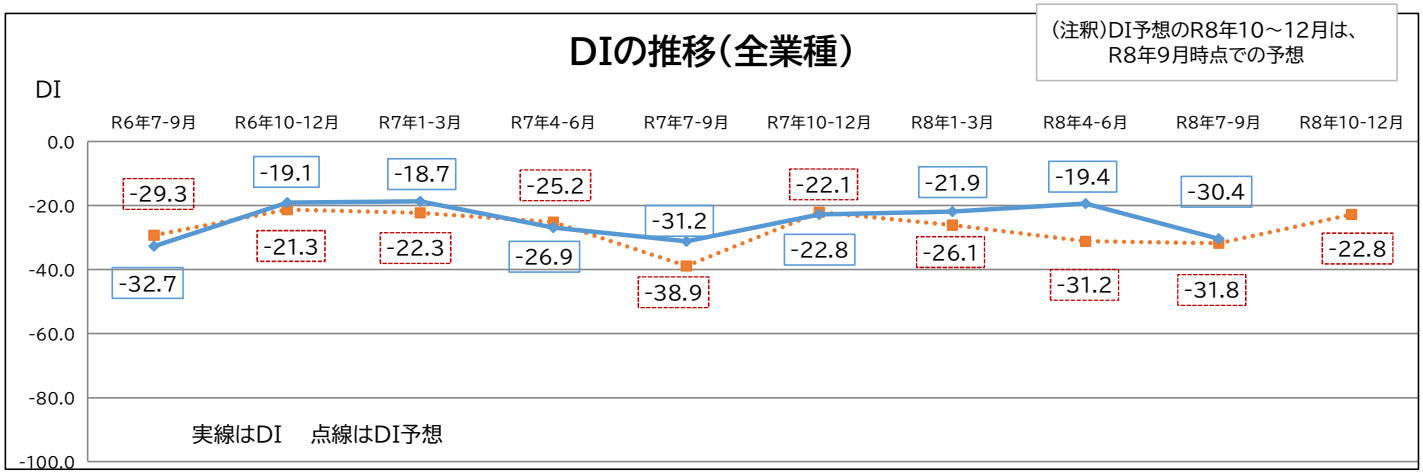


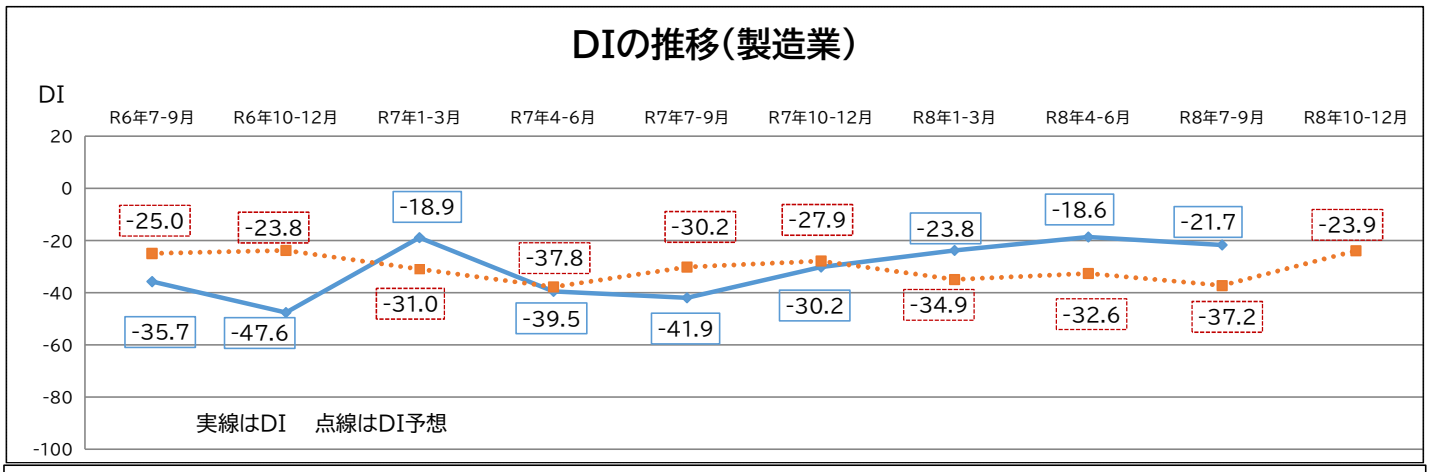
「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けて実施する(予定、検討中を含む)貴社の対応策について、当てはまるものを教えてください

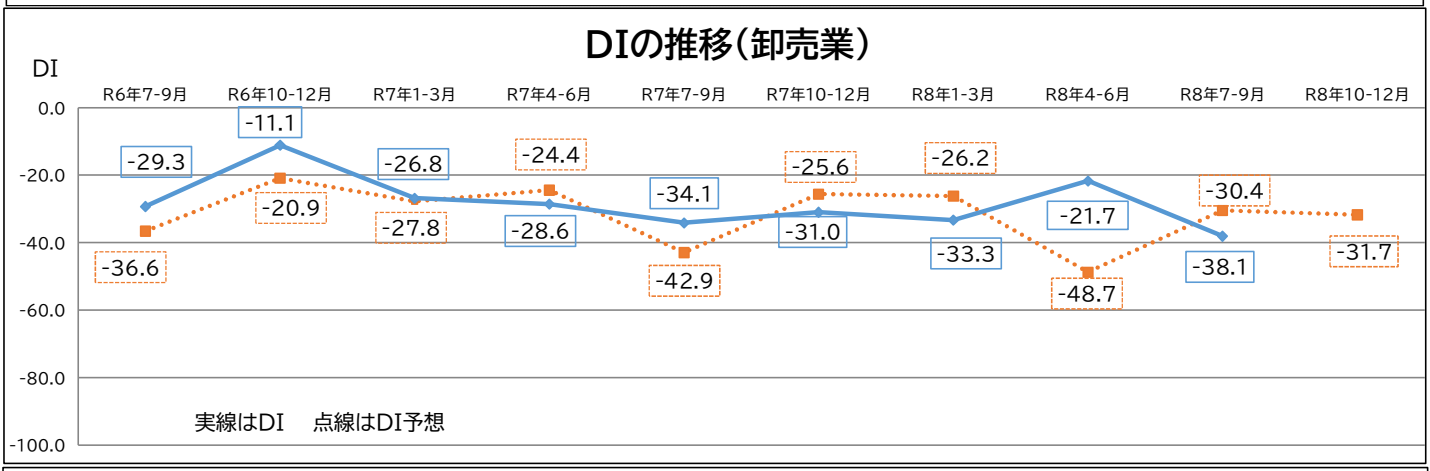


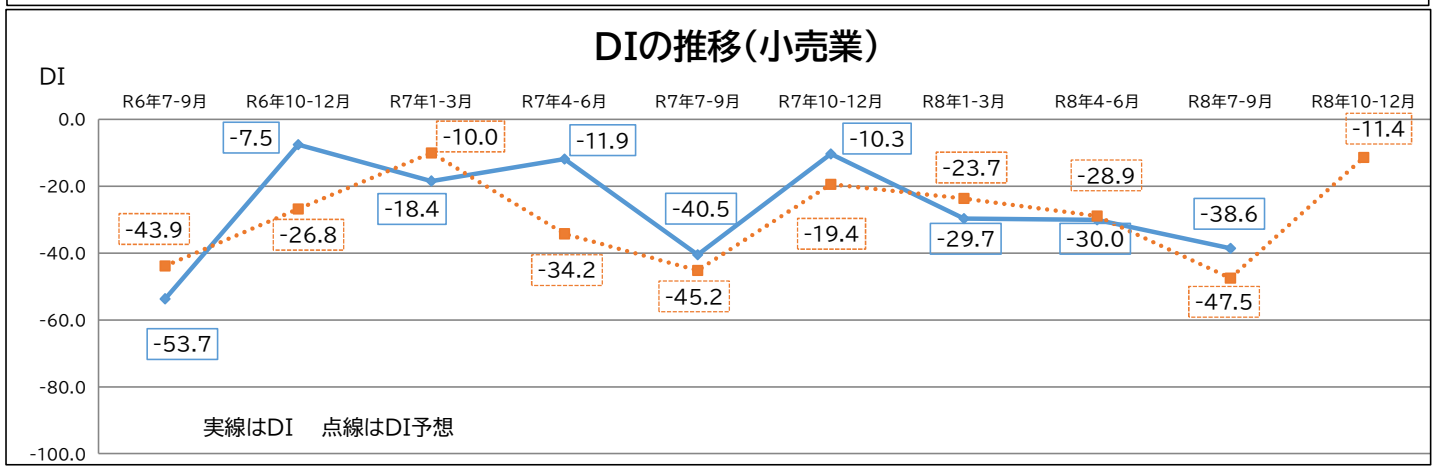
「原油価格高騰」や「原材料・資材の供給不安」を受けた貴社の対応策について、その実施状況を教えてください




DIの推移（全業種）
（注釈）DI予想のR8年10～12月は、R8年9月時点での予想
DI
R6年7-9月 R6年10-12月 R7年1-3月 R7年4-6月 R7年7-9月 R7年10-12月 R8年1-3月 R8年4-6月 R8年7-9月 R8年10-12月
0.0 -20.0 -40.0 -60.0 -80.0 -100.0
-29.3 -19.1 -18.7 -25.2 -31.2 -22.1 -21.9 -19.4 -30.4
-32.7 -21.3 -22.3 -26.9 -38.9 -22.8 -26.1 -31.2 -31.8 -22.8
実線はDI　点線はDI予想


DIの推移（製造業）
DI
R6年7-9月 R6年10-12月 R7年1-3月 R7年4-6月 R7年7-9月 R7年10-12月 R8年1-3月 R8年4-6月 R8年7-9月 R8年10-12月
20 0 -20 -40 -60 -80 -100
-25.0 -18.9 -30.2 -27.9 -23.8 -18.6 -21.7
-35.7 -23.8 -47.6 -31.0 -37.8 -39.5 -41.9 -30.2 -34.9 -32.6 -37.2 -23.9
実線はDI　点線はDI予想


DIの推移（卸売業）
DI
R6年7-9月 R6年10-12月 R7年1-3月 R7年4-6月 R7年7-9月 R7年10-12月 R8年1-3月 R8年4-6月 R8年7-9月 R8年10-12月
0.0 -20.0 -40.0 -60.0 -80.0 -100.0
-29.3 -11.1 -26.8 -34.1 -25.6 -26.2 -21.7 -30.4
-36.6 -20.9 -27.8 -28.6 -24.4 -42.9 -31.0 -33.3 -48.7 -38.1 -31.7
実線はDI　点線はDI予想


DIの推移（小売業）
DI
R6年7-9月 R6年10-12月 R7年1-3月 R7年4-6月 R7年7-9月 R7年10-12月 R8年1-3月 R8年4-6月 R8年7-9月 R8年10-12月
0.0 -20.0 -40.0 -60.0 -80.0 -100.0
-7.5 -10.0 -11.9 -40.5 -10.3 -23.7 -28.9 -38.6 -11.4
-43.9 -26.8 -18.4 -34.2 -45.2 -19.4 -29.7 -30.0 -47.5
-53.7
実線はDI　点線はDI予想